

あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房
 広報 VOL.61 2023.04.01
 編集 あいかわ工房編集委員会
 発行責任者 熊谷 直 丈
 ホームページ あいかわ工房 [検索](#)
 TEL 046-281-1157



ストレリチア

日本名 極楽鳥花

極楽鳥なんているのかな：と思っ
 ら本当にいるんですね。赤道直下のニ
 ユーギニアと云う島に生息しているそ
 うです。何種類かいるようで羽根の色
 も多彩なそうです。

そんな鳥の羽根に見立てての名前は
 ピッタリですね。少し大きな温室に行
 くとほとんどの所で栽培されていま
 す。この写真は小田原フラワーガーデ
 ンの温室で撮影しました。

三月十二日に屋外研修で富士サファリアリパークへ行きました。県の福祉バスは3ヶ月前の同じ日に申込みますが県内事業所からの申し込みが多く、抽選になり、なかなか当たりません。そこで今回は空いている日を聞いて決めました。朝8時の出発でしたが遅刻する人はいなく予定通りの行程で楽しみました。また、今回は監事の引木さんにも同行引率をお願い致しました。



安全監視をしてくれています



あいにくの雨で動物たちはびしょ濡れでいました
野生動物は厳しい環境に置かれても生きて行かなければなりません



パン作りをしました、サンプルの写真も参考に、思い思いにキリンや、ライオンなどをつくりました
 帰るまでに焼き上がり、世界で一つのお土産になりました

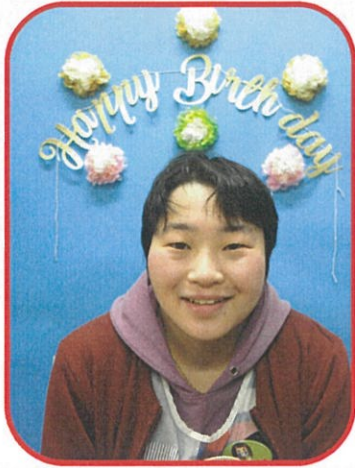


いつものビンゴゲームで車内は盛り上がりました、賞品も沢山ありました
 足柄サービスエリアに寄ってゆっくりとお土産を買うことができました



誕生日の花言葉とその花の写真を貼りつけました
 花言葉は色々な所で勝手につけているので、占いをまともに
 信じないで自分に都合の良い事だけ取り入れて下さい
 誕生日の頃に咲く花が判りますね

ミスミソウ
自信・はにかみ屋



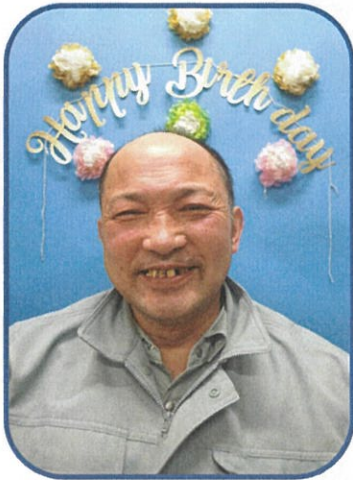
1 月生まれ

フクジュソウ
幸せを招く



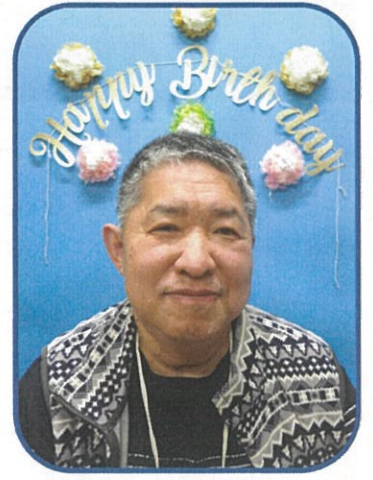
1 月生まれ

ネモフィラ
可憐・どこでも成功



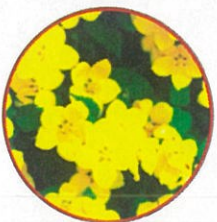
1 月生まれ

ユキヤナギ
愛らしさ・気まま



1 月生まれ

ヤマブキ
気品・崇高・金運



3 月生まれ

ヒマラヤユキノシタ
秘めた感情・順応



3 月生まれ

令和4年度の介護福祉士

国家試験に 齊藤純一さんが

合格しました

おめでとうございます



福祉の仕事に必要な知識・技能が一定水準を満たしているか、という国家試験です。年々難しさが上がっています。

あいかわ工房での各種資格の保有者はたくさんいます。

- 社会福祉士 1名
- 介護福祉士 4名
- 福祉住環境コーディネーター 1名
- 福祉用具専門相談員 2名
- 保育士 2名
- 幼稚園教諭 2名
- フオークリフト講習修了 5名
- 安全運転管理者 1名
- 防災士 1名
- 震災建築物応急危険度判定士 1名
- 防火管理者 3名

その他に福祉には直接関係がありませんが、企業様からお仕事を頂くに際して多くの知識でお話ができるだけの資格を有しているものが何人もいます。

みんなの時間

職員会議・ケース会議

毎月第一金曜日はみんなの時間を開催しています。職員が交代で企画して少しでも皆さんからの声が出るようにしています。これは災害の時や、自分ではどうにもならない、誰かに助けて貰いたい。そんな時に声が出せるようにする意味もあります。

これを受援力と言って、黙っていても誰も何もしてくれないから、自分から発信する力を付けてもらいたいのでいろいろな企画をしています。

第二金曜日は職員会議を開催しています。

前月の月次決算の内容を理事長から発表して、企業様への売り上げと受注動向を担当者が発表します。また利用者さんの出欠状況・工賃の支払い状況などを全員が共有できるように説明を受けます。

第三金曜日はケース会議を開催しています。

サービス管理責任者が座長となり、当月の契約更新の利用者さんについて、担当者が面接結果を発表し、全員で意見を出し合い、契約日を決めます。これには町で依頼している相談支援員に同席して貰い、アドバイスや情報を頂いています。

職員全員がどの利用者さんに対しても情報を共有して、同じような対応ができるように、施設長が統率しています。

職員研修

いろいろな会議を開いても最も大切なのは、職員一人一人の能力の向上です。

そのため職員会議などでも少しずつ一般的な教育は行っていますが、令和4年度の仕上げとして2月24日と3月24日に午後から集中的な研修を開催しました。

文書作成能力を上げるための、公用文の書き方から小論文の作り方・構成などを勉強して個々にテーマを見つけての宿題をだしました。一か月後には真剣に書かれた小論文が揃いました。

あいかわ工房では開所以来、職員一人一人にパソコンを支給して、日報の共有化・その他ほとんどの資料は共有化しています。

しかし、自分でいろいろな管理表を作ったり応用する勉強はしていませんでしたので、現代のビジネススマンに必須の計算ソフト、エクセルの使い方、各種の関数のいろいろな場面に適応する解説と応用について勉強をしました。

また、工場や建設など多くの場数を踏んで品質管理を実践してきた理事長による品質管理の講義とこれからの取り組み方を勉強しました。

職員一人一人が高い福祉に関する意識と一般人として恥ずかしくない能力を磨くため令和5年度も引き続き研修を続けます。今後は外部の講師も招いて開催したいと思っています。



感染症対策委員会

所内での感染症に対する知識の共有と、発生に対応するための勉強会を開催しました。

感染力が強く、死亡率の高い感染症から、比較的軽いものまで5段階に分けられています。報道でご存知の通り、新型コロナウイルスに関しては2類から5類になりました。

一時の猛威もかなり治まり、世界的にも安定してきた所から決められました。が、ウイルスが無くなったわけではありません。

あいかわ工房では、5月末までの間は、今まで通りマスク着用と検温・消毒を継続致します。

5月末の感染状況を見て、どこまで解除して行くか決めますので、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

皆さんの中には色々な病気を抱えている方がおられますので、皆さんの安全を優先致します。

コロナウイルスに限らず、多くの皆さんが来られるので、年間を通して衛生面・その他について、対策委員会で勉強し行動に移してゆきたいと思っております。

受注量の減少

利用者の皆さんに作業して頂くために企業様からお仕事を頂いています。協力して頂いている企業様は11社になります。が、僅かな仕事量でも、利用者さんの障がい具合に依じて、とても重要になって来ます。

令和元年度から全体に頂ける仕事量が漸減したり、2、3社様からは発注が無くなったり致しました。

2年度は元年度の約3%減少し3年度は前年比4%の減少、更に4年度は同じく前年度の3%の減少で、元年度からは8%の減少となりました。

これもコロナウイルスに感染若しくは濃厚接触でのお休みの方が増えた事なども起因しています。企業様には常にコンタクトをとらせて頂きながら発注のご協力をお願いしております。

上述のように感染症分類が引き下げられ、全体的な動きが活発化されて来りましたので、新年度での受注増・利用者さんの出席率の向上を期待して居ります。

また、皆さんの健康管理に少しでもお役に立てる様、通所日数が増える様に努力致します。

新年度になりました

本紙の発行が変則になってしまいました。してお詫び申し上げます。

コロナウイルスの感染が顕在化してから3年になりますが、利用者さん・職員にも感染者が出て、在宅支援や感染又は濃厚接触でのお休みの方が増えて売り上げが減少しましたが、発生当初のマスク不足の時に理事はじめ多くの方からお届けいただき、また抗原検査キットを企業様から頂くなど本当に有難く感謝申し上げます。

換気扇の設置や隔壁用のシート配置、毎時間ごとの開放換気など取れる措置はとって参りました。

今年度は障がい者協議会も復活するので、他の事業所との交流・情報交換など活発化することを願っています。

東日本大震災から12年が経ちました。常に安全対策を念頭に体制を整えて参ります。

トルコ・シリア地震には利用者の方及び職員で41,305円を、福祉支援課を通じて寄付させて頂きました。

今後とも皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

理事長 熊谷 直丈